

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規定は、広島国際大学医療福祉学部の授業科目の履修方法等について定める。

2 広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科介護福祉学専攻の履修については、この規定に定めるほか、広島国際大学介護福祉士養成施設に関する規定の定めるところによる。

(授業科目の分類、配当年次・学期および時間数)

第2条 授業科目の分類は、卒業要件との関連で必修科目および選択科目(選択必修科目を含む)とする。

2 開設する授業科目の分類、配当年次・学期および時間数は、別表第1のとおりとする。

3 前項の授業科目は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることがある。なお、該当科目については、学部長が別に定める。

(学科、専攻および定員)

第2条の2 本学部の学科、専攻および定員は、つぎのとおりとする。

学科	専攻	定員
医療福祉学科	医療福祉学専攻	50名
	介護福祉学専攻	20名
	保育学専攻	30名
	計	100名

(履修方法)

第3条 授業科目は、学科別に定めるところにより履修しなければならない。

(他大学および他学部等における授業科目の履修ならびにその取扱い)

第4条 教育上有益と認めたときは、他大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、学長は、学生に当該他大学の授業科目を履修させることができる。

2 短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。

3 前2項の規定により修得した単位については、学部長は教授会の議に基づき、30単位を限度として卒業の要件として認めることができる。

4 教育上有益と認めたときは、学部間の協議に基づき、学長は、学生に他学部の科目を履修させることができる。修得した単位については前項に準じる。

5 第2条第3項により修得した単位は、60単位を超えない範囲で卒業に必要な単位数に含めることができる。

(卒業に必要な単位数)

第5条 卒業に必要な単位数は、専攻別に次表のとおりとする。

学科				医療福祉学科											
				医療福祉学専攻				介護福祉学専攻				保育学専攻			
区分				必修	選択 必修	選択		必修	選択 必修	選択		必修	選択 必修	選択	
共通 教育 科目	教 養 科 目	国 際 学 際	国際社会の 理解	—	—	1	2*	—	—	1	2*	—	—	1	2*
			人間と思 想・文化	—	—	2	—	—	2	—	—	2			
			人間と現代 社会	—	—	—	—	—	—	—					
			人間と科	—	—	—	—	—	—	—					

		学・技術																		
基礎 教育 科目	共通基 礎	人文科学	—	—	2	—	—	2	—	—	2	—	—	2	—	—	2	—	—	2
		社会科学	—	—	2	—	—	2	—	—	2	—	—	2	—	—	2	—	—	2
		自然科学	—	—	2	—	—	2	—	—	2	—	—	2	—	—	2	—	—	2
		情報処理	2	—		2	—		2	—		2	—		2	—		2	—	
	外国語	4	—		4	—		4	—		4	—		4	—		4	—		
	保健体育	1	—	1	1	—	1	1	—	1	1	—	1	1	—	1	1	—	1	
	キャリア教育	—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		
計			7	—	12	7	—	12	7	—	12	7	—	12	7	—	12	7	—	12
			19単位以上						19単位以上						19単位以上					
	スタンダード科目		4	—	2	4	—	2	4	—	2	4	—	2	4	—	2	4	—	2
	計		6単位以上						6単位以上						6単位以上					
専 門 教 育 科 目	専門基礎科目		1	38	50	1	56	32	1	50	38	1	50	38	1	50	38	1	50	38
	専門科目		10			10			10			10			10			10		
	計		11	38	50	11	56	32	11	50	38	11	50	38	11	50	38	11	50	38
			99単位以上						99単位以上						99単位以上					
卒業必要単位数			22	38	64	22	56	46	22	50	52	22	50	52	22	50	52	22	50	52
			124単位以上						124単位以上						124単位以上					

い。

(履修許可の取消し)

第9条 履修許可後においてこの規定および履修申請要領等に違反して申請していることが判明したときは、当該科目の履修許可を取り消す。

(履修辞退)

第9条の2 学生から履修辞退の申し出があった場合、教育的効果を考慮してこれを認めることがある。

2 履修辞退の受付方法、その他必要な事項は学部長が別に定める。

第3章 成績評価および試験

(成績評価等)

第10条 成績の評価は学則第26条に定めるところにより、試験のほか、学生の日常の学修状況等を勘案して行う。

2 成績はS・A・B・C・D・E・*の7種の評語をもって表し、その評価基準はつぎのとおりとする。また、それぞれのグレードポイント(以下「GP」という)はつぎのとおりとする。ただし、再試験で合格の場合はすべてCの評語とする。

「S」：100～90点(GP：4)

「A」：89～80点(GP：3)

「B」：79～70点(GP：2)

「C」：69～60点(GP：1)

「D」：59～30点(GP：0)

「E」：29～0点(GP：0)

「*」：評価不能

3 成績評価S、A、B、Cを合格とし、所定の単位を与える。

4 編入学等で単位認定を受けた授業科目は、「認」と表示する。また、再入学および転学部等で単位を認定した科目の評価は、学部長が別に定める。

5 単に合格または不合格をもって示す授業科目は、当該科目が合格の場合は「G」、不合格の場合は「F」と表示する。

6 第2項の成績評価による学業結果を有効利用するために、グレードポイントアベレージ(以下「GPA」という)を用いる。

7 前項に定めるGPAは、各履修科目の単位数にGPを乗じた積の合計を、総履修単位数で除して算出する。

8 つぎの授業科目は、GPAの計算対象としない。

イ 卒業要件に含むことができない授業科目

ロ 評価を「認」、「G」、「F」で表示する授業科目

ハ 履修辞退した授業科目(ただし、再履修した授業科目を辞退した場合は、既に評価された成績をもって計算対象とする)

ニ その他別に定める授業科目

(試験の方法等)

第11条 試験は、履修許可を得た科目についてのみ受けることができるものとする。

2 試験は、当該科目の授業期間中に担当教員が随時行うものとする。

3 試験の方法は、筆記、口頭試問および実技とする。

4 教育上必要な場合は、追試験および再試験を実施することがある。

5 追試験は、病気その他やむを得ない理由により受験できなかった者に対して行う試験をいう。

6 再試験は、日常の学修状況が良好であるにもかかわらず、成績が合格点に達しなかった者に対して行う試験をいう。ただし、実験・実習・演習科目は除く。

(追試験および再試験の申請ならびに許可)

第12条 前条第5項の追試験を受けようとする者は、当該科目の試験終了日の翌日から起算して3日以内に、その理由を証明する書類を添えて受験不能届兼追試験願書を学部長に提出して許可を得なければならない。

- 2 再試験が受けられる授業科目数は、学部長が別に定める。
- 3 追試験および再試験の申請要領ならびに実施要領は、学部長が別に定める。

第4章 1年間の授業期間および授業時間

(1年間の授業期間)

第13条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(授業出席の義務)

第14条 学生は、履修許可を受けたすべての授業に出席し、遅刻、欠席等のないよう努めなければならない。

(授業時間)

第15条 授業は、2時間を1時限として、つぎのとおりとする。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
9 : 00～10 : 30	10 : 40～12 : 10	13 : 00～14 : 30	14 : 40～16 : 10	16 : 20～17 : 50

第5章 卒業研究

(卒業研究着手の要件)

第16条 第4年次に配当した授業科目のうち、「卒業研究Ⅰ・同Ⅱ」を履修するためには、つぎの要件を充足していなければならない。

医療福祉学専攻

共通教育科目	必修科目4単位および選択科目11単位を含め、計15単位以上修得
スタンダード科目	必修科目および選択科目を含め、4単位以上修得
専門教育科目	必修科目および選択必修科目から30単位以上ならびに選択科目30単位以上を含め、計60単位以上修得

介護福祉学専攻

共通教育科目	必修科目4単位および選択科目11単位を含め、計15単位以上修得
スタンダード科目	必修科目および選択科目を含め、4単位以上修得
専門教育科目	必修科目および選択必修科目から43単位以上ならびに選択科目17単位以上を含め、計60単位以上修得

保育学専攻

共通教育科目	必修科目4単位および選択科目11単位を含め、計15単位以上修得
スタンダード科目	必修科目および選択科目を含め、4単位以上修得
専門教育科目	必修科目および選択必修科目から39単位以上ならびに選択科目21単位以上を含め、計60単位以上修得

2 前項にかかわらず、学部長が特に認めた者はこの限りでない。

第6章 進級要件

(進級要件)

第17条 各年次に進級するためには所定の単位を修得しなければならない。

① 医療福祉学専攻

イ 第2年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	「アカデミックリテラシー」の単位を修得
専門教育科目	第1年次配当科目の選択必修科目のうち8単位以上を修得

ロ 第3年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	—
専門教育科目	第2年次配当科目の必修科目および選択必修科目のうち6単位以上を修得

ハ 第4年次

共通教育科目	—
--------	---

スタンダード科目	—
専門教育科目	第3年次配当科目の必修科目および選択必修科目のうち2単位以上を修得

② 介護福祉学専攻

イ 第2年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	「アカデミックリテラシー」の単位を修得
専門教育科目	第1年次配当科目の選択必修科目のうち12単位以上を修得

ロ 第3年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	—
専門教育科目	第2年次配当科目の必修科目および選択必修科目のうち5単位以上を修得

ハ 第4年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	—
専門教育科目	第3年次配当科目の必修科目および選択必修科目のうち6単位以上を修得

③ 保育学専攻

イ 第2年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	「アカデミックリテラシー」の単位を修得
専門教育科目	第1年次配当科目の選択必修科目のうち6単位以上を修得

ロ 第3年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	—
専門教育科目	第2年次配当科目の必修科目および選択必修科目のうち6単位以上を修得

ハ 第4年次

共通教育科目	—
スタンダード科目	—
専門教育科目	第3年次配当科目の必修科目および選択必修科目のうち3単位以上を修得

2 前項にかかわらず、学部長が特に認めた者はこの限りでない。

第7章 雑則

(その他)

第18条 この規定に定めるもののほか、授業科目の履修等に関して必要な事項は、学部長が定める。

(規定の改廃)

第19条 この規定の改廃は、大学・大学院運営会議および教授会の議を経て、学長が行う。

付 則

- 1 この規定は、1998年4月1日から施行する。
- 2 この改正規定は、2009年4月1日から学内規定に編入する。
- 3 この改正規定は、2021年4月1日から施行する。

別表第1 開設する授業科目の分類、配当年次・学期および時間数

1 共通教育科目

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

科目区分			授業科目	単 位 数	配当年次・学期・時間数								備 考	
					1年次		2年次		3年次		4年次			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教 養 科 目	国 際	国 際 社 会 の 理 解	グローバル社会を考えるⅠ	1		(30)	(30)	(30)	(30)	(30)				
			グローバル社会を考えるⅡ	1		(30)	(30)	(30)	(30)	(30)				
			グローバル社会を考えるⅢ	1		(30)	(30)	(30)	(30)	(30)				
	学 際	人 間 と 思 想 ・ 文 化	思想・文化を考えるⅠ	1		(30)	(30)	(30)	(30)	(30)				
			思想・文化を考えるⅡ	1		(30)	(30)	(30)	(30)	(30)				
		人 間 と 現 代 社 会	現代社会を考えるⅠ	1		(30)	(30)	(30)	(30)	(30)				
			現代社会を考えるⅡ	1		(30)	(30)	(30)	(30)	(30)				
		人 間 と 科 学 ・ 技 術	科学・技術と人間生活Ⅰ	1		(30)	(30)	(30)	(30)	(30)				
			科学・技術と人間生活Ⅱ	1		(30)	(30)	(30)	(30)	(30)				
		基 礎 教 育 科 目	共 通 基 礎	人 文 科 学	哲学	2	(30)	(30)	(30)	(30)				
					文学	2	(30)	(30)	(30)	(30)				
心理学	2				(30)	(30)	(30)	(30)						
日本語表現法	2				(30)	(30)	(30)	(30)						
芸術学	2				(30)	(30)	(30)	(30)						
文化人類学	2				(30)	(30)	(30)	(30)						
コミュニケーション論	2				(30)	(30)	(30)	(30)						
社 会 科 学	法学		2	(30)	(30)	(30)	(30)							
	経済学		2	(30)	(30)	(30)	(30)							
	歴史学		2	(30)	(30)	(30)	(30)							
	政治学		2	(30)	(30)	(30)	(30)							
	教育学		2	(30)	(30)	(30)	(30)							
自 然 科	統計学		2	(30)	(30)	(30)	(30)							
	数学基礎		1	30										
	数学		2	(30)	(30)	(30)	(30)							

	学	物理学	2	(30)	(30)	(30)	(30)						
		物理学実験	1	(45)	(45)	(45)	(45)						
		化学	2	(30)	(30)	(30)	(30)						
		化学実験	1	(45)	(45)	(45)	(45)						
		生物学	2	(30)	(30)	(30)	(30)						
		生物学実験	1	(45)	(45)	(45)	(45)						
	情報処 理	情報基礎演習	①	30									
		情報倫理・応用演習	①	(30)	(30)								
		情報統計演習	1	(30)	(30)	(30)	(30)						
		情報管理演習	1	(30)	(30)	(30)	(30)						
		情報発展演習	1	(30)	(30)	(30)	(30)						
	外国語	英語Ⅰa	①	30									
		英語Ⅰb	①		30								
		英語Ⅱa	①	30									
		英語Ⅱb	①		30								
		英語Ⅲa	1			30							
		英語Ⅲb	1				30						
		英語Ⅳ	1			(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)		
		検定英語	1			(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)		
		ドイツ語a	1	30									
		ドイツ語b	1		30								
		中国語a	1	30									
		中国語b	1		30								
		韓国語a	1	30									
		韓国語b	1		30								
	保健体 育	スポーツⅠ	①	(15)	(15)								
		スポーツⅡ	1	(30)	(30)								
		スポーツⅢ	1	(30)	(30)								
	キャリ ア教育	キャリア開発演習Ⅰ	1		30								
		キャリア開発演習Ⅱ	1			30							
		キャリア開発演習Ⅲ	1						30				
		Global Communication	2			(30)	(30)	(30)	(30)				

【留学生特例科目】

科目区分			授業科目	単位 数	配当年次・学期・時間数								備考
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎 教育 科目	共通 基礎 科学	社会	日本事情Ⅰ	2	30								
			日本事情Ⅱ	2		30							
	外国語		日本語Ⅰa	1	30								
			日本語Ⅰb	1		30							
			日本語Ⅱa	1			30						
			日本語Ⅱb	1				30					
	外国語												

〔注〕留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、次に掲げるもので代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

- 1 共通教育科目の共通基礎社会科学の2単位までを「日本事情Ⅰ」の単位数
- 2 共通教育科目の外国語の4単位までを「日本語Ⅰa」、「日本語Ⅰb」、「日本語Ⅱa」および「日本語Ⅱb」の単位数

2 スタンダード科目

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

科目区分	授業科目	単 位 数	配当年次・学期・時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	①	30								
	チュートリアル	①	30								
	専門職連携基礎演習Ⅰ	①	(30)	(30)							
	専門職連携基礎演習Ⅱ	①	(30)	(30)							
	専門職連携総合演習Ⅰ	1			(30)	(30)	(30)	(30)			
	専門職連携総合演習Ⅱ	1					(30)	(30)	(30)	(30)	
	防災・危機管理学	1	(15)	(15)	(15)	(15)					
	地域創生論	1	(15)	(15)	(15)	(15)					

3 専門教育科目

注1 履修区分欄の○印は必修科目

2 履修区分欄の□印は選択必修科目

3 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

4 履修区分欄の斜線は当該専攻では履修できない科目

授業科目		単 位 数	履修区分			配当年次・学期・時間数								備 考
			医療福祉学科			1年次		2年次		3年次		4年次		
			医療 福祉 学専 攻	介護 福祉 学専 攻	保育 学専 攻	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門 基礎 科目	社会福祉原論 Ⅰ	2	□		□	(30)	(30)							
	社会福祉原論 Ⅱ	2	□			(30)	(30)							
	ソーシャルワ ーク入門	1	○	○	○	(30)	(30)							
専門 科目	社会福祉学系科目 人体の構造と 機能及び疾病	2				(30)	(30)							
	社会福祉学系科目 社会調査法	2						(30)	(30)					
	社会福祉学系科目 社会福祉援助 技術論Ⅰ	2	□					(30)	(30)					
	社会福祉学系科目 社会福祉援助 技術論Ⅱ	2	□			(30)	(30)							
	社会福祉学系科目 社会福祉援助 技術論Ⅲ	2	□	□				(30)	(30)					
	社会福祉学系科目 社会福祉援助 技術論Ⅳ	2	□					(30)	(30)					
	社会福祉学系科目 社会福祉援助 技術論Ⅴ	2	□			(30)	(30)							

社会福祉援助 技術論Ⅵ	2	☐	☐				(30)	(30)					
地域福祉論Ⅰ	2	☐					(30)	(30)					
地域福祉論Ⅱ	2	☐							(30)	(30)			
福祉行財政と 福祉計画	2								(30)	(30)			
福祉運営管理 論	2						(30)	(30)					
社会保障論Ⅰ	2	☐					(30)	(30)					
社会保障論Ⅱ	2	☐					(30)	(30)					
高齢者福祉論 Ⅰ	2	☐	☐		(30)	(30)							
高齢者福祉論 Ⅱ	2	☐	☐		(30)	(30)							
障害者に対す る支援と障害 者自立支援制 度	2	☐					(30)	(30)					
障がいの理解	2	☐	☐		(30)	(30)							
児童福祉論	2	☐	☐	☐	(30)	(30)							
学校ソーシャ ルワーク論	2						(30)	(30)					
公的扶助論	2								(30)	(30)			
保健医療サー ビス	2	☐					(30)	(30)					
保健医療ソー シャルワーク 論Ⅰ	2						(30)	(30)					
保健医療ソー シャルワーク 論Ⅱ	2						(30)	(30)					
就労支援	1								(15)	(15)			
権利擁護と成 年後見	2	☐							(30)	(30)			
更生保護	1								(15)	(15)			
社会福祉援助 技術演習Ⅰ	3								(90)	(90)			
社会福祉援助 技術演習Ⅱ	2								(60)	(60)			
社会福祉援助 技術現場実習 概論	2						(30)	(30)					
社会福祉援助 技術現場実習 指導Ⅰ	1								(30)	(30)			
社会福祉援助 技術現場実習	1								(30)	(30)			

精神保健福祉系科目	指導Ⅱ													
	社会福祉援助技術現場実習	1								(30)	(30)			
	指導Ⅲ													
	社会福祉援助技術現場実習	4								180				
	精神疾患とそ の治療Ⅰ	2								(30)	(30)			
	精神疾患とそ の治療Ⅱ	2								(30)	(30)			
	精神保健の課 題と支援Ⅰ	2						(30)	(30)					
	精神保健の課 題と支援Ⅱ	2						(30)	(30)					
	精神保健福祉 相談援助の基 盤(専門)	2						(30)	(30)					
	精神保健福祉 の理論と相談 援助の展開ⅠA	2								(30)	(30)			
	精神保健福祉 の理論と相談 援助の展開ⅠB	2								(30)	(30)			
	精神保健福祉 の理論と相談 援助の展開ⅡA	2										(30)	(30)	
	精神保健福祉 の理論と相談 援助の展開ⅡB	2										(30)	(30)	
	精神保健福祉 に関する制度 とサービスⅠ	2								(30)	(30)			
	精神保健福祉 に関する制度 とサービスⅡ	2								(30)	(30)			
	精神障害者の 生活支援シス テム	2								(30)	(30)			
	精神保健福祉 援助演習Ⅰ	1								(30)	(30)			
	精神保健福祉 援助演習Ⅱ	1								(30)	(30)			
	精神保健福祉 援助演習Ⅲ	1										(30)	(30)	
	精神保健福祉 援助実習指導 Ⅰ	1								30				

介護福祉系科目	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1							(30)	(30)			
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	1									(30)	(30)	
	精神保健福祉援助実習	5								225			
	介護の基本ⅠA	2		□		(30)	(30)						
	介護の基本ⅠB	2		□		(30)	(30)						
	介護の基本Ⅱ	2							(30)	(30)			
	リハビリテーション論	2							(30)	(30)			
	レクリエーション活動援助法	1		□		(30)	(30)						
	介護マネジメント論	2							(30)	(30)			
	コミュニケーション技術Ⅰ	1		□			(30)	(30)					
	コミュニケーション技術Ⅱ(点字・手話)	1		□					(30)	(30)			
	家政学概論Ⅰ	2		□			(30)	(30)					
	家政学概論Ⅱ	2					(30)	(30)					
	家政学演習Ⅰ(栄養)	1		□			(30)	(30)					
	家政学演習Ⅱ(被服)	1							(30)	(30)			
	生活支援技術Ⅰ	2		□		(60)	(60)						
	生活支援技術Ⅱ	2		□		(60)	(60)						
	生活支援技術Ⅲ	1		□			(30)	(30)					
	生活支援技術Ⅳ	1							(30)	(30)			
	介護過程Ⅰ	2		□		(30)	(30)						
	介護過程ⅡA	1		□			(30)	(30)					
	介護過程ⅡB	1		□			(30)	(30)					
	介護過程ⅢA	1							(30)	(30)			
	介護過程ⅢB	1							(30)	(30)			
	介護総合演習Ⅰ	1		□		(40)	(40)						
	介護総合演習Ⅱ	1		□			(40)	(40)					
	介護総合演習	1							(40)	(40)			

保育 系 科 目	Ⅲ													
	介護実習Ⅰ	2		☐		90								
	介護実習Ⅱ	4		☐			180							
	介護実習Ⅲ	4						180						
	発達と老化の 理解	2		☐			(30)	(30)						
	認知症の理解	2		☐					(30)	(30)				
	認知症のケア	2		☐					(30)	(30)				
	医学一般	2		☐		(30)	(30)							
	心と体の仕組 み	2		☐		(30)	(30)							
	介護予防と終 末期のケア	2							(30)	(30)	(30)			
	医療的ケアⅠ	2		☐					(30)	(30)				
	医療的ケアⅡ	2		☐					(30)	(30)				
	医療的ケアⅢ	1		☐					(30)	(30)				
	保育原理	2			☐	(30)	(30)							
	教育原理	2			☐	(30)	(30)							
	子育て支援	1			☐				(15)	(15)				
	社会的養護Ⅰ	2			☐				(30)	(30)				
	保育者論	2			☐	(30)	(30)	(30)	(30)					
	保育の心理学	2			☐	(30)	(30)							
	子ども家庭支 援の心理学	2			☐	(30)	(30)							
	子どもの理解 と援助	1			☐	(15)	(15)							
	子どもの保健	2			☐			(30)	(30)					
	子どもの健康 と安全	1			☐			(15)	(15)					
	子どもの食と 栄養	2			☐	(30)	(30)							
	子ども家庭支 援論	2			☐			(30)	(30)					
	保育の計画と 評価	2			☐	(30)	(30)							
	保育内容総論	1			☐	(15)	(15)							
	保育内容演習 Ⅰ(健康)	1			☐	(15)	(15)							
	保育内容演習 Ⅱ(人間関係)	1			☐			(15)	(15)					
	保育内容演習 Ⅲ(環境)	1			☐			(15)	(15)					
	保育内容演習 Ⅳ(言葉)	1			☐	(15)	(15)							
	保育内容演習 Ⅴ(表現)	1			☐	(15)	(15)							
	児童文学	2						(30)	(30)					

関連科目 専門演習	乳児保育Ⅰ	2			☐			(30)	(30)					
	乳児保育Ⅱ	1			☐			(15)	(15)					
	障がい児保育	2			☐					(30)	(30)			
	社会的養護Ⅱ	1			☐					(15)	(15)			
	保育内容の理解と方法Ⅰ	2			☐	(30)	(30)							
	保育内容の理解と方法Ⅱ	2			☐			(30)	(30)					
	保育内容の理解と方法Ⅲ	1				(15)	(15)							
	母子保健	1								(15)	(15)			
	病児保育	1								(15)	(15)			
	保育実習概論	1			☐			(15)	(15)					
	保育実習指導Ⅰー1(保育所)	1			☐			(15)	(15)					
	保育実習指導Ⅰー2(施設)	1			☐					(15)	(15)			
	保育実習Ⅰー1(保育所)	2			☐			90						
	保育実習Ⅰー2(施設)	2			☐					90				
	保育実践演習	2								(30)	(30)	(30)	(30)	
	保育実習指導Ⅱ	1								(15)	(15)			
	保育実習Ⅱ	2								90				
	保育実習指導Ⅲ	1								(15)	(15)			
	保育実習Ⅲ	2								90				
	国際福祉論	2						(30)	(30)					
	国際医療福祉演習	1				(30)	(30)							
	国際福祉用語概論	2						(30)	(30)					
	社会福祉法概論	2						(30)	(30)					
	音楽療法概論	2						(30)	(30)					
	生涯発達心理学	2		☐				(30)	(30)					
	障害者心理学	2				(30)	(30)							
	社会学	2				(30)	(30)							
	総合福祉論	4										(120)	(120)	
専門演習	専門演習ⅠA	1	○	○	○			(30)	(30)					
	専門演習ⅠB	1	○	○	○			(30)	(30)					
	専門演習ⅡA	2	○	○	○					(60)	(60)			
	専門演習ⅡB	2	○	○	○					(60)	(60)			
	卒業研究Ⅰ	2	○	○	○							(60)	(60)	
	卒業研究Ⅱ	2	○	○	○							(60)	(60)	

別表第2

先修科目

A欄に掲げる授業科目を履修するためには、B欄に掲げる授業科目(先修科目)の単位を前もって修得しているか、または同時に履修していなければならない。

[医療福祉学専攻]

A欄	B欄
社会福祉援助技術現場実習(3年次)	社会福祉援助技術現場実習概論(同時履修不可)
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ・Ⅱ
	社会福祉援助技術論Ⅱ・Ⅴ
精神保健福祉援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(3年次・4年次)	精神保健の課題と支援Ⅰ
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)
精神保健福祉援助実習(3年次・4年次)	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ(同時履修不可)
精神保健の課題と支援Ⅱ(2年次)	精神保健の課題と支援Ⅰ
精神疾患とその治療Ⅱ(3年次)	精神疾患とその治療Ⅰ
精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠB(3年次)	精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠA
精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡB(4年次)	精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡA
精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ(3年次)	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ
専門演習ⅠB(2年次)	専門演習ⅠA
専門演習ⅡA(3年次)	専門演習ⅠB(同時履修不可)
専門演習ⅡB(3年次)	専門演習ⅡA
卒業研究Ⅰ(4年次)	専門演習ⅡB(同時履修不可)
卒業研究Ⅱ(4年次)	卒業研究Ⅰ

[介護福祉学専攻]

A欄	B欄
介護実習Ⅰ(1年次)	介護総合演習Ⅰ
	介護過程Ⅰ
介護実習Ⅱ(2年次)	介護総合演習Ⅰ・Ⅱ
	介護過程Ⅰ・Ⅱ
	介護実習Ⅰ
介護実習Ⅲ(3年次)	介護総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	介護実習Ⅱ
医療的ケアⅡ(3年次)	医療的ケアⅠ
医療的ケアⅢ(3年次)	医療的ケアⅡ
専門演習ⅠB(2年次)	専門演習ⅠA
専門演習ⅡA(3年次)	専門演習ⅠB(同時履修不可)
専門演習ⅡB(3年次)	専門演習ⅡA
卒業研究Ⅰ(4年次)	専門演習ⅡB(同時履修不可)
卒業研究Ⅱ(4年次)	卒業研究Ⅰ

[保育学専攻]

A欄	B欄
保育実習Ⅰ—1(2年次)	保育原理(同時履修不可)
	保育内容総論(同時履修不可)

	保育内容演習Ⅰ(健康)(同時履修不可)
	保育内容演習Ⅳ(言葉)(同時履修不可)
	保育実習指導Ⅰ—1(保育所)
	保育実習指導Ⅰ—2(施設)
保育実習Ⅰ—2(3年次)	保育の計画と評価(同時履修不可)
	子どもの保健(同時履修不可)
	児童福祉論(同時履修不可)
保育実習Ⅱ(3年次)	保育実習指導Ⅱ
	保育の計画と評価(同時履修不可)
	子どもの保健(同時履修不可)
	児童福祉論(同時履修不可)
保育実習Ⅲ(3年次)	保育実習指導Ⅲ
	保育の計画と評価(同時履修不可)
	子どもの保健(同時履修不可)
	児童福祉論(同時履修不可)
専門演習ⅠB(2年次)	専門演習ⅠA
専門演習ⅡA(3年次)	専門演習ⅠB(同時履修不可)
専門演習ⅡB(3年次)	専門演習ⅡA
卒業研究Ⅰ(4年次)	専門演習ⅡB(同時履修不可)
卒業研究Ⅱ(4年次)	卒業研究Ⅰ